

1年生 生活 しぜんとなかよし 図工 のってみたいな いきたいな



成果 と 課題

<成果>

- ・乗りたいものや自分自身を描いた画用紙を切り取って、友達とごっこ遊びをすることで、のびのびとイメージを膨らませることができた。
- ・紹介文を書くことで、発表する力を高めることができ、国語の学習やESD 子供報告会にもつなげることができた。
- ・ワークシート①:乗りたいもの、選んだその理由、ワークシート②:本時で使った紹介文 これらの2段階のワークシートを使うことで、1年生でもイメージを文字で書き表すことができた。
- ・描く・切る・貼るなど何段階もの工程を経たこと、紹介文を書いたことによって、思い入れのある作品になった。単元は9月で終わったものの、3学期の学習発表会で展示したいという児童が学級の半数を占めるほど、思いの詰まった作品となった。

<本時の様子>

- ・紹介カードを基に、自分の作品について、グループで紹介した。聞き手は質問や感想を伝え、グループで活発にやり取りをした。
- ・学級全体で、各作品の良いところを共有した。
- ・自分の作品を紹介した感想を発表した。

質問は「どうして～ですか」、感想は「～がいいですね」と話せるといいですね。



<課題>

- ・授業者が話す時間が長くなっていった。児童主体の活動の時間を多く取るために、グループを変えて発表する時間をもつのもよい。
- ・紹介カードを基に発表したため、発表内容が型にはまっていたり、聞き手を見ずに紙を見て話していたりした。今後経験を積んでいくことで、改善されていくとよい。
- ・国語との関連をもたせたことで、その後の発表の活動にも生かすことができたため、年間指導計画にきちんと入れ込み、計画的な指導を行っていきたい。

この乗り物は、～です。気に入っているところは…。



この作品で気に入っているところは、毛糸をぐるぐる丸めて、太陽にしたところです。

